

## ■報告事項

### 令和3年『初春交流会』の中止

会報65号で、令和3年2月13日(土)に豊島区地域支部『初春交流会』の開催をご案内しましたが、昨年末の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止することにいたしました。

校友の皆さまとの懇親・交流の機会が持たず残念ですが、ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

### えんがわ市に出店

12月13日に開催されたNPO法人としまNPO推進協議会の「えんがわ市」のフリーマーケットに校友会豊島区地域支部として出店しました。

「えんがわ市」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見送っていましたが、11月から再開されたもので、校友会豊島区地域支部も久々の出店となりました。売上金は、社会ニーズに対応して、社会貢献活動の一環として全額寄付いたします。



## 石榑督和先生を囲んでの勉強会に後援

NPO法人つげの会(明治大学建築学科徳永研究室OBで設立)が主催し12月12日に開催したセミナー『石榑督和先生を囲んでの勉強会(東京の闇市と、そこから生まれたまちと路地)』に、全国路地のまち連絡協議会やNPO法人「としまの記憶」をつなぐ会とともに後援参加しました。

東京理科大学助教の石榑督和先生は、明治大学建築学科・同大学院修了で、「戦後東京と闇市 新宿・池袋・渋谷の形成過程と都市組織」(2016年、鹿島出版会)で、日本建築学会著作賞を受賞するなど、近現代都市史の俊英の若手研究者で、当日も新宿・池袋・渋谷駅周辺などの戦後の闇市を原形に都市の構造変化に伴う新陳代謝と景観変容に関する講演をいただきました。



## ■トピックス・現役生の活躍

体育会水泳部の村田翔選手(法4年・池袋本町在住・淑徳巣鴨高校出身)が、インカレ男子四〇〇m個人メドレーで4位入賞の好成績を収め、男子総合優勝に貢献しました。村田選手から、次のようなコメントをいただきました。

『第96回日本学生選手権水泳競技大会において、「天皇杯奪還」をすることができました。非常に厳しい戦いになると予想されましたが、監督やマネージャー、OBの方々などのたくさんのご支援をいただくとともに、部員全員で力をつけて優勝できたと感謝しております。私自身は4年生となり、水泳人生最後のレースでしたが、自分のため、仲間のために、今まで支えて下さった全ての人への感謝の想いを胸に全身全霊で泳ぎました。最高の形で競技人生を終わることができました。本当にありがとうございました。』



## ■使用済み切手・書き損じハガキ、ベルマーク収集への協力お願い

身近な社会貢献活動として、使用済み切手・書き損じハガキを豊島区民社

会福祉協議会へ寄付、ベルマークを豊島区教育委員会へ寄付を行っています。毎月開催している役員会で収集とりまとめしています。

これまでも、匿名での使用済み切手や書き損じハガキを郵送いただくことも、白砂支部長宛にお届けいただいております。会報誌面を借りて、改めて、御礼申し上げます。

校友の皆さんも収集活動にご協力の上、地域支部役員へお届け下さるようお願い申し上げます。

## ■豊島区地域支部年会費納入のお願い

校友の皆さまには、明治大学校友会豊島区地域支部の事業へのご協力御礼申し上げます。

豊島区地域支部の会報の制作・郵送などの事務費については、会員の皆さまからの年会費により運営しています。令和2年11月の会報65号送付時に同封させていただいた2020年と2021年の年会費の振込用紙で、振込手続きいただければ幸いです。何卒、ご協力お願い申し上げます。

## ■訂正とお詫び

東京都北部支部総会・懇親会  
会報65号でお知らせした東京都北部支部総会・懇親会は、令和3年6月26日午後5時から、於(荒川区)ホテルラングウッド日暮里に変更になりました。

明治大学校友会豊島区地域支部会報

## 豊島支部 NEWS

2021年 第66号

## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。どう御座います。

校友の皆様はどのようなお気持ちで迎えられましたでしょうか。昨年は新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年間だったのではないのでしょうか。4月7日の政府が発令しました緊急事態宣言の第一波を初めとして8月の第二波そして11月から12月の年末にかけての第3波が私たち国民及び世界中の人々に襲来しました。人類誕生からの歴史の中でウイルスとの戦いが幾度となく繰り返されてきたようです。

今回の新型コロナウイルスは、おぼろげながらその正体が判明しつつありますが確かな事は未だ解かっていません。「3蜜防止」「マスクの着用」「不要不急の外出禁止」などの感染予防対策が周知されていますが、確固たる防止策が見つかっていません。ワクチンの開発結果を待たざるを得ませんが心細い限りです。科学や医学がこれだけ発達しても解明出来ないことがまだまだこの地球上にあることが現前の事実として我々に突き付けられました。また、気候等の自然現象もわかりやすいです。地球温暖化の影響で近年、豪雨災害が日本国中及び世界を襲っており、如何に文明科学が発達しても人間が自然現象に打ち勝つのは



難しいのではないのでしょうか。人間・人類は自然から色々な事を学び・吸収し今日の繁栄を築いて来たのではないのでしょうか。この様な事実を踏まえると人間はもっともっと謙虚になり、限りある地球から受ける恩恵を大事にして自然から今まで以上に学ぶ必要があるように思います。たった今からすぐできることの一つが地球温暖化防止ではないのでしょうか。一人一人が出来る小さな事がこの地球を救う行為に育っていくと思います。今回の「新型コロナウイルス感染症」を奇禍として各々個人が出来ることから始めましょう。

昨年は豊島区地域支部としましては「初春交流会」「開催を最後に「ミレイ会」「社会貢献活動見本市」「明治大学校友会東京都北部支部総会・懇親会」「暑気払い」「六大学野球明立戦観戦」そして最大の行事である「豊島区地域支部総会・懇親会」等々を中止せざるを得ませんでした。

校友の皆様からは早くこの様な状態から行け出して校友が集える機会を是非作ってほしい旨の要望が寄せられております。我々執行部としましては校友の皆様のご希望にこたえるべく役員会においても議論はしておりますがこの「新型コロナウイルス感染症」が収まらない限り諸行事を開催することは難しいと思われまます。既に昨年、11月の役員会において本年の「初春交流会（令和3年2月13日開催）」を中止とさ

せて頂きました。今後の「新型コロナウイルス」の感染状況如何では本年度の諸行事開催も考えざるを得ません。校友の皆様におかれましてはこのような現状をご勘案頂き今少し御辛抱をお願い申し上げます。

一つ我々執行部として嬉しいご報告を申し上げます。校友会が新しい体制になってから十数年をかけて年会費納入の校友の皆様が百名を突破し、113名の皆様から年会費を頂くことができました。これは校友の皆様が日頃「明治大学」及び「明治大学校友会豊島区地域支部」を愛し・育てるの心持で変わらぬご協力を頂けたことが素晴らしい数字としてこの結果を出させて頂いたと感謝するところでありまます。豊島区地域支部の活動は老・壮・青の校友の皆様が支えが有り、初めて大学への貢献、地域活動への貢献が可能になると確信いたします。

今後とも「着実に」「確実に」をモットーに「明るく」「仲良く」「楽しい」地域社会を築くべく校友の皆様のご協力・ご支援を頂きますよう切にお願い申し上げます。結びとしまして、「新型コロナウイルス感染症」に打ち勝つて、本年も良き一年となりますようご校友の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。一月元旦

校友会豊島区地域支部部長

白砂正人

夢の実現

昭和61年商学部 河田 章

この度は、伝統ある明治大学校友会豊島区地域支部へ入会しましたので、よろしくお願い申し上げます。明治大学英語部（ESS）に捧げた輝かしき4年間を振り返りたいと思います。

今まで約58年間生きてきて、一番緊張し感激した日はいつですか？

と聞かれたら、迷わず昭和57年明治大学商学部合格発表の日と答えます。4年間でたくさんの友人と出会い様々な“まさか”を経験することができました。

中学生の頃の“夢”は銀行員になることでした。高校を卒業し一年間下宿をしながら代々木にある予備校へ通い、迎えた2回目の受験シーズン。先に受けた2校が不合格となり背水の陣で臨んだ発表の朝。一時間以上前に到着したがやることもなく、3号館の裏庭に足で大きく合格の「合」の字を書き折りながら発表を待ちました。まさかこの場所で週4日昼休みにヴォイストレーニングをすることになるとは思ってもいませんでした。そのおかげか自分



の番号を見つけた時は感動で飛び上がったのですが記憶にありません。そもそも大学では一生懸命勉強するつもりはなく、とにかく何か一つ将来に役に立つことを見つけようとしていました。担任の先生は元グリーンベリーのアメリカ人、バラ色のキャンパスライフを想像していたがクラス50名のうち女性はたった3名。オリエンテーションで、英語は好きで得意科目だったので老朽化したESSの部室で説明を聞き、とりあえず3号館の大教室での歓迎会へ参加しましたが100名

以上が入部し驚きました。その後明大前の山晴や新宿西口東京サントリーでの新歓コンパ。ウイスキーを飲むのは初めてで、まさか東京のシティボーイズはウイスキーにビールやしょう油、唐辛子などを入れて味を調整する？とは夢にも思ってもいませんでした。当時はザンオールスターズがデビューし、ディスコが大変流行っていました。

悪友2人と歌舞伎町のディスコへ行き、3人組の女性グループに初めてのナンパ。よくよく話を聞くと、まさか相手も明大新聞部の新入生とのこと。レイ子ちゃんとい比谷野音でのコンサートへ行くも進展なく、初恋サワートともに消えてしまいました。夏合宿では4つのグループに分かれ、ディベートやドラマ、ソフトボール、エンタテで競いました。ドラマは「ウエストサイドストーリー」まさかミュージカルの主役を演じるところ。秋からはドラマセクションに属し毎年秋にF.U.E.Tという大きな大会に参加しました。1年目は「カッコーの巣の上で」「2年目は「WAIT UNTIL DARK」トニーで不評を買い裏方として参加、まさか英語部に入ったのに赤いつなぎを着て大工仕事をするとは。公演終了

後は歌舞伎町でのオールナイトコンパ。まさか先輩の話を聞いてあんなに涙を流すとは。2度目の恋はESSの同期、最初は良かったのですが、途中から...まさか妹、弟はいないのにお兄ちゃんと呼ばれるとは。まさか平井駅付近の駐車場のトラックの荷台で新聞紙にくるまれながら朝を迎えるとは。4年生の夏合宿では帰りのドライブインで連れションし戻ってみるとバスがない、まさか置いてきぼりを食うとは。最後のまさは卒業間近、お互い部内で付き合うとしたら一番最後と思っていた者同士がラグビー雪の明慶戦で初デート。卒業後まさかロサンゼルスで結婚式を挙げるとは。いろいろ楽しい思い出ばかりです。銀行に就職し2番目の“夢”は海外で働くこと。2年間でしたが香港に勤務し英語が役に立ちました。

現在の“夢”は若者達の“夢”の実現を応援することで昨年末にスタートアップ企業を資金面でサポートする会社に転職しました。場所は御茶ノ水の隣の淡路町で代取は一昨年明治大学大学院を卒業したとのこと。今後明治大学とのご縁を大切に、頑張って参りますので、ご支援お願い致します。

## ● 団体紹介

(公社)豊島区シルバー人材センター

会長・代表理事 米倉義明

1972年商学部商学科卒

「思い出の地 駿河台」

昨年、校友会豊島支部に入会させていただいた米倉です。よろしくお願いいたします。私は1948年豊島区で出生し、現在まで在住しています。区内にある公立の小学校、中学校、高校に通いました。

明治大学との関係は、私が物心つく前に鬼籍に入った父が、戦前の本学柔道部主将であったことを母から幾度となく聞き、年少時において本学は、私にとつて唯一の憧れの大学でした。

一年浪人の後、複数の大学を受験し、縁あって1968年4月に商学部商学科に入学しました(当時、団塊世代の現役入学率は低く、本学でも30数%であったと記憶しています)。入学はしたものの、当時の大学は「学費値上げ反対闘争」、「70年安保闘争」等、激動の時代に突入していました。全国的に学生運動の嵐が吹き荒れ、本学においても入り口付近にバリケードが高く築かれ、長期間のロックアウト、休校が続きました。(こ



れにより、授業に出席しない癖がついたのかもしれない)

当時、思想的にはノンポリの私でしたが、周囲の影響を受け、友人数名と国会周辺までデモに参加、機動隊員に包囲され、友人が殴打される光景を見た瞬間、権力の怖さを全身で知ると同時に、同世代の機動隊員が「社会秩序」を守るため仕事として、必死に学生と対峙する姿に触れ、自分の甘さ、小ささ、幼さに情けない思いがした記憶が残っています。

その後、学生運動が下火になった頃の思い出を辿ると、ほぼ毎日10時前後に、丸ノ内線御茶ノ水駅で下車、名曲喫茶「田園」、「丘」で仲間を探し、学校を素通り、学校裏の「アミ」で焼肉ライスか、「キッチンカロリー」、「ミロンガ」などで昼食、その後、錦華公園裏の「西東」で麻雀か、岩波新書が景品としてあった「人生劇場」、「ポニー」でパチンコに興じていました。神保町に現存する喫茶「さぼる」はK女子大、O女子大の学生で溢れた華やかで刺激的な空間で足繫く通っていました。50年前の懐かしい思い出です。

また、友人が始めた中学生対象の塾の講師、場外馬券場の警備員、テレビドラ

マのエキストラ等のアルバイトで小遣い稼ぎにも励みました。

このような、怠惰な学生生活(4年間で授業出席は、多分7、8か月)を過ごしましたが、大学動乱期にあった、1講義出席すると5講義程度の出席にカウントする「集中講義」という救済制度により、出席日数はクリア、卒業試験は隣に座った同級生の助けなどにより、卒業単位を取得し、4年間で無事に卒業できました。

卒業後は、学生時代の自堕落な

生活を断つ覚悟で、豊島区に本社を置く、西武セゾングループの会社に就職しました。流通業で、最初の2年間は店舗での販売職を経験、年間20〜30%のインフレ、第一次オイルショック等で商品が面白いように売れる時代でした。体力的にきつく、大卒同期は



1年で半分近く退職しましたが、私の肌には不思議と合い、仕事の楽しさ、厳しさなど社会人としての基礎を学び、俗にいう「企業戦士」の道をスタートしました。3年目以降は本社勤務となり、上司・同僚にも恵まれ、自分の能力以上の仕事を経験させてもらい、同グループで40年間会社員生活を送りました。

そして現在、公益社団法人豊島区シルバー人材センターの会長職を務めさせていただいております。

センターは、健康で働く意欲のある60歳以上の高齢者のために、様々な就業やボランティア活動等の機会を提供し、生きがいや生活感の充実、地域社会の発展のために運営されている、会員数約1,600名の公益社団法人です。豊島区の外部団体でもあり、名誉会長は豊島区長の高野之夫さんです。

最近、地域からの期待も多く、色鮮やかなユニフォームを着て従事する「もっときれいな街づくり推進事業」や、ミニSLのある「としまキッズパーク管理運営業務」などを区や企業から依頼され、多くの会員が地域

で貢献させていただいております。今後も、コロナ禍でありますが、更なる発展のため、万全の安全対策を図った上で、新規会員や仕事の依頼を募集しております。区内在住の同窓の方々の入会を心からお待ちしております。

(公社)豊島区シルバー人材センター

豊島区東池袋二丁目55番地6号

電話・03-3982-9533

携帯・090-1462-7604(米倉)